

服を着るのはなぜ？

講師

葭内 ありさ

私たちは毎日、“服”を着て暮らしています。服は、体を保護し、快適に過ごすのに役立つだけでなく、さまざまな思いを伝える大切な“手段”でもあります。人はなぜ服を着るのかを考えることで、自分の衣生活を豊かにしていきましょう。

◆◆◆ きょうのキーワード ◆◆◆

被服の役割：保健衛生的機能

被服の役割には、

- ① 体温調節の補助
- ② 身体の保護
- ③ 生活活動への適合

といった「保健衛生的機能」があります。被服を着ると、皮膚と被服の間や、さらに重ねた被服との間に空気の層ができて、外気とは異なる温度や湿度を持つ「被服気候」ができます。被服気候を調節することで、体温調節の補助ができ、エコにもつながります。寒い時には首（襟）、手首、足首の「3首」の開口部を閉じると保温効果が高まります。暑い時は被服で外部の熱をさえぎり、薄い生地で通気性のよい開口部の大きな服を着ると、体の表面の熱を逃すことができます。

被服の役割：社会的機能

被服の役割には、

- ① 職業や所属集団の表示
- ② 社会慣習への順応
- ③ 自己の表現

があり、私たちは社会の影響を受けて被服の着方を学んでいきます。例えば、職業を示す「制服」があることは、役割がわかりやすいなどの利点があり、職務への自覚や所属意識を高める役割もあります。また、被服には民族、地域、宗教などによる習慣やしきたりがあり、社会生活を円滑にする役割があります。結婚式や葬儀などの行事や、ビジネスの場などで適切な服を着ることは、喜びや悲しみなどの気持ちを表すと同時に、相手を敬う気持ちや思いやりを伝える大切な手段となります。例えば、結婚式では、地味すぎる服や気軽な服も失礼ですが、新郎新婦より目立ちすぎる服もふさわしくありません。「平服でお越しください」との案内を受けても、ふだん着ではなく、お祝いの気持ちが表れた服が適切です。

服の購入時のチェックポイント：仕立て

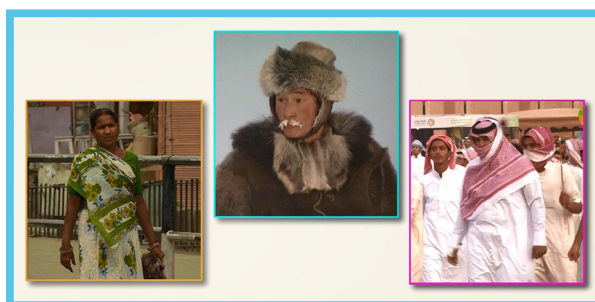
服を選ぶ時には、サイズ、デザイン、価格、品質、生産の背景の他、仕立てを見ることで、着心地がよく、長く着られる服を手に入れることができます。仕立てをチェックする際には、体に沿った形であるかどうかの他、ボタンなどの付属品がしっかりついているか、運針（縫い目の細かさ）、裏の始末が丁寧か、を見るとよいでしょう。運針が細かいほど、襟などの形が美しくなり、体に合う着心地の良い服になります。また、袖や裾の裏の部分で、布端が見えないおり伏せ縫いや巻縫いで始末してある服も、丈夫で肌当たりもよくなります。手縫いの服は、一般にミシン縫いに比較し強度では劣りますが、体の動きに合わせて縫い目が動き、着やすいのが特徴です。

《参考資料》

<p>服を買う時のチェックポイント</p> <p>サイズ デザイン 素材</p> <p>価格 手入れのしやすさ</p> <p>縫製の技術 (縫い目、襟や袖・付属品の付け方など)</p> <p>生産の背景</p>	<p>運針：縫い目に注目！</p> 
<p>シャツの裏側の「始末」</p> 	<p>折り伏せ縫い</p> 

1 服を着る理由

(1) ロシアのチュクチ族のトナカイの毛皮でつくった服や、インドの「サリー」、アラブ首長国連邦の「カンドゥーラ」のVTRを見て、服の保健衛生的機能について、気がついたことや、自分の服の着方で関係していることは何か、まとめましょう。



(2) 被服の社会的機能の「自己表現」について、番組でりゅうちえるさんがプロデュースしたファッションショーを見て、自分と服との関わり方について考えたことをまとめましょう。

2 服を選ぶ

番組を見て、日本の和裁などの伝統技術や、服の生産の背景について知ることについて、感じたことをまとめましょう。

《参考資料》



【着物など和服を制作する和裁の技術のひとつ「くけ縫い」】

memo

このページ掲載の文章・画像の無断転載及び商用利用を固く禁じます。

3 エシカルファッション

エシカルファッションと言えるカテゴリーの下記の例を参考に、自分が興味を持ってそうなことを一つ選び、どのような課題や、それを解決するための仕組みや製品、活動があるか、調べましょう。また、なにか自分にもできそうなことがあるか、考えましょう。



< エシカルファッション カテゴリー例 >

フェアトレード / 天然素材 / 有機栽培 / アニマルウェルフェア（動物への配慮） / 地域支援 / ごみや無駄の削減 / アップサイクル&リサイクル / 伝統技術の継承 / 被災地支援 / ソーシャルプログラム（社会的弱者支援）

選んだカテゴリー（ ）	
課題	解決のためのエシカルファッションの取り組みや製品、活動、など
自分でもできそうなこと（例：友人との服の交換会を開催する！）	

きょうのまとめ

私たちはなぜ服を着るのか、これから服を選ぶときにはどんなことを意識していきたいか、まとめましょう。

コラム

エシカルファッション

あなたの着ている服は、誰が、どこで、どのように作ったものでしょうか。生産や処分の過程での環境や人権への影響はどのようなものでしょうか？物や服のもつ背景を意識した選択を行うのがエシカル消費です。エシカルファッションは、「エシカル消費」（家庭総合第21回「自分の消費で社会を変える」でも取り上げています）のアパレル分野の取り組みです。

アパレル産業は、石油産業に次いで環境負荷の高い業界です。原料の栽培や調達、製品の生産、加工、販売、処分までの各サイクルで、環境や人権、動物への配慮に関わる課題が多くあります。例えば、服の1着あたりの価格を下げるために、需要をはるかに上回る量の服を作り、店頭にも並ばずに服が大量に廃棄されており、お金も資源もむだになっています。日本では98%近くの服が輸入されています。その多くの服が作られているのは、開発途上国の貧困層が働く縫製工場です。そうした工場では、労働者の健康や安全、適正な賃金が守られないことがあり、大半の労働者は女性です。新型コロナウイルスの影響では、先進国からの受注が突然キャンセルされ、多くの労働者が職を失いました。先進国のための生産で、弱い立場の貧困層の人々が責任を取る形になっているのです。

「エシカルファッション」では、環境に負荷の少ない生産方法や素材を用いたり、労働者の安全を守ってきちんと生活できる賃金を支払い、児童労働をしないことで子どもが教育を受けられるようにしたり、伝統技術を継承するなど、次の世代にもつなげる衣生活を考えます。最新技術を用いて、循環型経済（サーキュラーエコノミー）を実現できるエシカルな服づくりのしくみや素材なども開発されつつあります。フランスでは、服の廃棄を禁止する法律ができました。

また、買うばかりではなく、いま持っている服を大切に長く使うのも「エシカルファッション」です。生産の背景を知るとは学ぶことも多い、楽しいことであり、より心豊かな衣生活につながります。さらに、目の前の価格やデザインだけではなく、背景を考えることは、広く遠くまでの視点を養うことにもなります。この視点は、高校生のみなさんがいまの自分を見つめるときや、将来、何がしたいかを考える際にもきっと役立つことでしょう。

memo
